

当社開発支援による AI 顔認証エンジン「FaceMe®」が採用決定

東海エレクトロニクス株式会社（代表取締役社長：大倉 慎、所在地：愛知県名古屋市）は、サイバーリンク株式会社（代表取締役社長：ヒルダ ペン、本社：台湾）の AI 顔認証エンジン「FaceMe®」 Security 認定パートナー企業として技術サポートを行っており、この度システムギア株式会社（代表取締役社長：岸上 新弥、所在地：大阪府大阪市）製マルチリーダー端末「PDC-310」に AI 顔認証エンジン「FaceMe®」が採用された事をアナウンス致します。

【マルチリーダー端末 PDC-310 製品について】

PDC-310 は Windows10 IoT 搭載の IC、磁気カード対応のマルチリーダー端末で、IC 付きの身分証（学生証、社員証、会員証など）を利用した出席管理や入退室管理に活用出来ます。また IC カードによるタッチレス運用を行う事で、コロナ禍の下での感染症の拡大防止策としても有効であるほか、身分証と生体認証を組み合わせることで、セキュリティレベルを上げる「多要素認証」にも対応しています。



【東海エレクトロニクス 医療分野での活動・ソリューションについて】

東海エレクトロニクスは、2020 年度からの中期経営計画「Value Fusion2022」で目指している「より豊かな生活に、より良い環境作りに貢献」の実現に向けて、エレクトロニクスを応用したシステムを医療分野に積極的に展開をしています。

今回のマルチリーダー端末の活用事例は、医療スタッフの作業実施履歴管理のためのソリューションで、厚生労働省の定める「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(注1)を満たすものです。コロナ禍の下での非接触のニューノーマルニーズに対して、顔認証を活用したマルチリーダー端末「PDC-310」は色々な現場での有効なソリューションとなると考えています。



(注1)厚生労働省サイトにて掲載「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第 5.1 版」

URL <https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000516275.html>

【システムギアについて】

1972年に「日本システム開発株式会社」として設立され、今年で創業50周年を迎えます。国産初のマイクロコンピュータを開発、主に産業用制御機器メーカーとして工場の自動化、省力化に貢献してきました。2019年8月に主要グループ会社4社を合併し「システムギア株式会社」として新たに歩み始めました。ハードウェア/ソフトウェア受託製造、技術者派遣事業、EC事業、クラウドサービス事業へも事業領域を展開し、1つでも多くのシェア No1 製品/サービスの提供を目指しております。

【サイバーリンクについて】

1996年に設立。台湾に本社を置くマルチメディアソフトウェアと AI 顔識別技術の世界的リーダーです。デジタルコンテンツの創作、マルチメディアコンテンツの再生、AI 顔認証エンジンなどの多岐にわたるソリューションの開発を行っており、マルチメディアからスマートリテールなどのニーズに応えています。日本法人であるサイバーリンク株式会社は、1998年に設立。セキュリティシステム、個人認識・個人認証に最適なソリューションを提供することを通して、新しい「暮らし方」を創造しています。

【お問合せ先：担当】

東海エレクトロニクス株式会社

マーケティング本部 医療プロジェクト 原 幸司 koji.hara@tokai-ele.com

国内営業本部 東京支店 営業第2部 河合 信哉 nobuya.kawai@tokai-ele.com